



MORITA GROUP

MORITA REPORT 2011

株主・投資家のみなさまへ

第79期中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで



MURITA

証券コード:6455

モリタ トピックス

■ 新型消火器「ALTESIMO アルテシモ」登場

当社グループでは、老朽化した加圧式消火器の破裂事故を受け安全性の高い蓄圧式消火器を普及させるため新製品の開発に取り組み、このたび新型消火器「ALTESIMO アルテシモ」を完成いたしました。商品名が連想させるとおり、アルミ素材を用いた溶接レスの工法によって窒素ガスが外部に漏れない構造となっています。また、底部には樹脂製“はかま”を採用し、腐食防止への対策も大きく強化しました。さらに、全体重量は同型の鉄製消火器と比べて20%～27%軽く、使う人の負担を軽減するとともに、消火器前面のラベルも見やすく読みやすいユニバーサルデザインを心がけました。「より安全に・より美しく」をコンセプトに、デザイン性にも優れた安全で信頼できる消火器です。これからの蓄圧式消火器の普及に向けた当社グループの主力商品として市場での積極的な展開を行ってまいります。

※「アルテシモ」という商品名は素材の「アルミ」と音楽の記号で『最も強く』という意味の「フォルテシモ」を掛け合わせた造語です。



■ 林野火災コンセプトカー 米IDEA賞受賞

「林野火災用消防車 コンセプトカー」が、世界三大デザイン賞の一つであるアメリカの「2011年度IDEA賞のCommercial



And Industrial Products部門」において最高賞の金賞を受賞いたしました。今回受賞した「林野火災用消防車 コンセプトカー」は、世界で多発する大規模な林野火災の諸課題を解決することを目的に、モリタグループの技術・開発及びデザインチームが総力を結集して開発した未来型車両です。IDEA賞では、「徹底的な市場調査をもとに、使う人のための機能面を重視し、さらに車自身も見て楽しめる、革新的かつ大胆で、洗練されたパワーを表現しているデザイン」と高く評価されました。

今後も機能性とデザイン性を追求した車両の開発を行い、人間工学的手法も取り入れた、次世代を担う車両の開発に取り組んでまいります。



■ ミヤタサイクル・MERIDA 2012年モデル

ミヤタサイクルは、世界的なスポーツバイクブランド『MERIDA (メリダ)』の2012年モデルを10月1日から新発売いたしました。今モデルの代表的な商品は、日本人女性の体型や日本の道路事情を考慮して設計開発された、女性のためのスポーツバイク「MERIDA JULIET (メリダ ジュリエット)」シリーズと「BIG.NINE」シリーズです。

昨今の健康志向のなか、学生・社会人を中心に自転車(バイク)が生活スタイルの一部に組み込まれ、より個性的なものを求める傾向にあります。「MERIDA JULIET」シリーズでは、日本人女性にフィットする設計を加え、女性デザイナーによるスペシャルカラーの車種も揃えました。また、「BIG.NINE」は世界のレースシーンでトレンドになりつつある29インチタイヤのマウンテンバイクです。

これに先立ちMIYATAブランドでは通勤通学に最適な、「EXクロス・ストリート」、「EXクロス・レディ」、「タルト」を発売しました。

これからもスポーティーに通勤通学を楽しみたいという健康志向の市場を着実に捉え、ニーズにマッチしたバイクを提供してまいります。



BIG.NINE CORBON TEAM-D



MERIDA JULIETシリーズ CROSSWAY BREEZE TFS 200MD

トップメッセージ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、当社第79期の中間報告書をお届けするにあたり、営業の概況についてご報告申し上げます。

営業の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災によって停滞していた生産活動も徐々に回復しつつありますが、米国及び欧州の財政不安による円高・株安等先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。

当第2四半期の経営成績につきましては、売上高は前年同期比1,564百万円減少し、20,362百万円(7.1%減)となりました。一方、利益面におきましては、防災事業及び自転車事業の業績が堅調に推移したことにより、営業利益は前年同期比338百万円増加し、547百万円(161.8%増)、経常利益は304百万円増加し、621百万円(96.0%増)、四半期純利益は262百万円(前年同期は31百万円の損失)となりました。

なお、当社グループのセグメント毎の業績は次のとおりです。消防車両事業は前年同期に補正予算関連の売上が寄与しておりました結果、売上高は6,697百万円(前年同期比29.0%減)、セグメント利益は104百万円(前年同期比78.5%減)。防災事業はパッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の好調な販売に加え、消火器の法令改正に伴う需要の増加もあり、売上高は7,120百万円(前年同期比20.2%増)、セグメント利益は408百万円(前年同期は39百万円の損失)。産業機械事業は東日本大震災

のがれき処理に伴う需要の増加もあり、売上高は1,780百万円（前年同期比44.7%増）、セグメント損失は24百万円（前年同期は117百万円の損失）。環境車両事業は東日本大震災による自動車メーカーからのシャシー供給遅延に伴う生産への影響もあり、売上高は3,295百万円（前年同期比17.5%減）、セグメント損失は12百万円（前年同期は99百万円の利益）。自転車事業は高付加価値商品の拡販に注力し、売上高は1,469百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期は191百万円の損失）。以上の結果となりました。

今後の見通し

以上のとおり、当第2四半期における当社グループの業績は防災事業及び自転車事業が売上・利益に貢献する結果となり、概ね堅調に推移いたしました。通期においては期初予想のとおり推移する見込となっています。引き続きわが国経済は予断を許さない状況が続くものと思われませんが、今後も積極的な営業活動に努めるとともに、原価低減及び生産の効率化を促進し、収益確保を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

代表取締役社長 中島 正博

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (平成22年9月30日現在)	当第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成23年3月31日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産	31,325	31,086	34,909
固 定 資 産	35,607	36,977	36,855
資 産 合 計	66,933	68,063	71,765
負 債 の 部			
流 動 負 債	16,736	17,245	20,852
固 定 負 債	19,132	17,527	17,483
負 債 合 計	35,869	34,773	38,335
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	32,349	34,116	34,080
資 本 金	4,746	4,746	4,746
資 本 剰 余 金	3,743	3,743	3,743
利 益 剰 余 金	24,888	26,666	26,627
自 己 株 式	△1,028	△1,038	△1,036
その他の包括利益累計額	△1,737	△2,029	△1,845
その他有価証券評価差額金	105	△253	△195
繰延ヘッジ損益	△37	△19	△100
土地再評価差額金	△1,728	△1,428	△1,428
為替換算調整勘定	△76	△328	△121
少 数 株 主 持 分	451	1,202	1,194
純 資 産 合 計	31,063	33,289	33,429
負 債 純 資 産 合 計	66,933	68,063	71,765

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
売 上 高	21,926	20,362	59,749
売 上 原 価	16,650	14,717	45,309
売 上 総 利 益	5,276	5,645	14,439
販売費及び一般管理費	5,067	5,097	10,100
営 業 利 益	209	547	4,339
営 業 外 収 益	266	233	604
営 業 外 費 用	157	158	329
経 常 利 益	317	621	4,614
特 別 利 益	84	0	487
特 別 損 失	509	15	1,010
税金等調整前四半期 (当期)純利益	△108	606	4,090
法 人 税 等	△70	335	1,815
少 数 株 主 利 益	△6	8	44
四半期(当期)純利益	△31	262	2,230

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	前 期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010	△440	5,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	138	△1,082	△1,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△569	△79	△2,940
現金及び現金同等物の増減額	579	△1,601	1,397
現金及び現金同等物の期首残高	4,976	6,373	4,976
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	5,556	4,771	6,373

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要

(平成23年9月30日現在)

■概要

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間 接業務の受託

■グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 〔はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防 車両並びに特殊車両の開発・製造・販売〕
株式会社モリタ防災テック	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階 〔消火器を中心とした各種防災機器の販売、 防災設備の設計施工並びに保守点検〕
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 〔リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理 施設の設計施工並びに各種大型油圧機 械の開発・製造・販売〕
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 〔衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・ 製造・販売〕
株式会社モリタテクノス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号 〔消防車両・救助用資機材等のアフターサー ビス・メンテナンス並びに電子応用機械器 具・情報処理機械器具の開発・製造・販売〕
宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 〔消火器を中心とした消火関連機器、消火 装置、その他各種防災機器・設備の開発・ 製造・販売〕
株式会社ミヤタサイクル	東京都港区西新橋3丁目25番31号 〔各種自転車の開発・販売〕

株式会社 モリタ総合サービス	大阪市生野区小路東5丁目5番20号
株式会社 アルボ	静岡県磐田市上神増1479-1
株式会社 モリタユージー	東京都港区芝2丁目5番6号 芝256スクエアビル8階
株式会社 モリタエンジニアリング	大阪府八尾市神武町1番48号
株式会社 北海道モリタ	札幌市東区苗穂町13丁目2番17号
鹿児島森田ポンプ株式会社	鹿児島市松原町12番32号
株式会社 モリタ東洋	三重県伊賀市佐那具町金神塚1700番地の2
上海金盾特種車輛裝備有限公司	中国上海市浦東新区書院鎮麗正路1515号
南京晨光森田環保科技有限公司	中国南京市江寧經濟技術開發区 天元中路188号
四川森田消防裝備製造有限公司	中国四川省成都市温江区成都海峽兩岸 科技園新華大道一段8号
康鴻森田(香港)有限公司	Rm.1911CC Wu Building, 302-8 Hennessy Rd., Wan Chai, Hong Kong
MORITA VIETNAM COMPANY LTD.	Minh Duc Commune, My Hao District, Hung Yen Province, Vietnam

株主メモ

■ 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.morita119.com/kohkoku/index.html
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛をお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

<http://www.morita119.com>



モリタオリジナルグッズ通販サイト
「モリタネットショップ」

<http://morita119-netshop.com/>

人と地球のいのちを守る

MORITA

株式会社モリタホールディングス

大阪本社 〒544-8585 大阪市生野区小路東5丁目5番20号 ☎06-6756-0100
東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号 ☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>



この冊子はユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしています。